



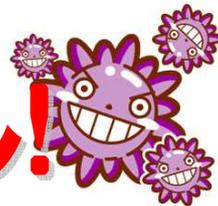
保健だより



大佐地区

先日より、大佐学区内で感染性胃腸炎が流行し始めました。ご注意ください！

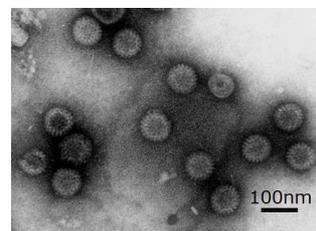
感染性胃腸炎が流行の兆し!



感染性胃腸炎は、冬場に流行する代表的な感染症です。特にノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルスが原因菌となることが多くあります。その中でもノロウイルスは感染力が強いため、学校のような集団生活の場では大規模な流行となることがあるので、注意が必要です。※ロタウイルスは、乳幼児に多く、中学生が感染することは、めったにありません。

ノロウイルスの3大症状

- ★発熱（初期症状で37℃台がほとんど）
- ★嘔吐・下痢症状（下痢よりも嘔吐が多い）
- ★腹痛（差すような痛み）



ノロウイルス

潜伏期間

感染後、**1～2日**で症状が出ます。

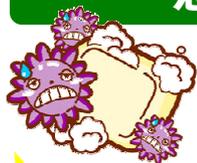
ノロウイルスは感染力が強く、何度でも感染するので予防が大切です！

感染経路

次のような感染経路があります。

- ★感染した人の便や嘔吐物に触れた手指を介してウイルスが口に入った場合。
- ★便や嘔吐の粒子が乾燥して、細かな塵となって舞い上がり、それを吸ってしまった場合。
- ★感染している人が、十分な手洗いを行わず調理をし、その料理を食べた場合。
- ★ノロウイルスを取り込んだ貝（カキ、シジミ）を、不十分な加熱処理のまま食べた場合。

感染予防



最も有効な予防手段は**手洗い**です！

石けんを使って30秒以上の手洗いが最も効果を発揮します。



感染者の吐瀉物（吐いたもの）からの感染力が最も強く、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）でないと、ウイルスは死滅しません。誰かが、嘔吐した場合は、すぐ**次亜塩素酸ナトリウムでの消毒が必要**です。

感染性胃腸炎は、出席停止になります。